

第5回 第2次四国中央市男女共同参画計画委員会会議録

1. 開催日時 平成27年10月9日（金） 19時00分から20時00分
2. 場 所 四国中央市福社会館 3階 会議室2
3. 出席者 （委員長）亀岡 マリ子 （副委員長）山川 昭典
（委 員）宮崎 恵、窪田 幸子、山下 宏二、内川 眞千子
（事務局）市民環境部長 塩田浩之
市民交流課長 金崎佐和子
市民交流課女性政策係 石川友紀
4. 傍聴者 なし
5. 会議内容
 1. 開会
 2. 第2次計画案の追加施策について
 3. 第2次計画案に係るタウンコメントについて
 4. 数値目標の根拠について
 5. 提言書について
 6. その他
6. 会議録 次頁のとおり

	<p>事務局より、前回の会議録の確認と計画案についての説明後、委員により審議</p>
事務局	<p>「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」(女性活躍推進法)が成立し、市町村においては推進計画を定めるよう努めなければならないとされており、基本方針に基づき当市においては現在策定中の第2次男女共同参画計画に盛り込むことで、この推進計画とした旨を説明し、了承いただいた。</p>
	<p>そのうえで、どのような項目を盛り込むかは、現在担当課(産業支援課)と協議中であり、今回の委員会にお諮りすることができないので、項目の決定については、今後委員会がないことから委員長、副委員長に一任していただきたいと要望。</p>
委員長	<p>委員のみなさん、私と副委員長に一任していただけますでしょうか。</p>
委員	<p>一任します。</p>
事務局	<p>続いてタウンコメントについてですが、市役所各庁舎、公民館全館、市内図書館に紙ベースで公表し、HPにおいても公表し募集しましたが、1件もご意見はありませんでした。</p>
委員長	<p>事務局からの報告のとおり、タウンコメントは1件もなかったということですので、現在の案で市民のみなさまからご承認いただけたということですね。</p>
事務局	<p>続いて、前回の委員会で委員からご意見をいただいております、数値目標の根拠についてご説明いたします。前回の委員会後、各項目の担当課に根拠を記載してもらいました。市民交流課担当の項目を主にいくつかの項目についてご説明いたします。 (「家庭生活の場で男女平等感」、「地域ふれあい座談会・地域学習会参加人数」、「地域活動の場で男女平等感」、「審議会等への女性委員の登用率」、「女性委員のいない審議会数」、「女性消防団員の数」について説明し、その他の項目については後で目を通していただくこととした) 前回の委員会において「地域ふれあい座談会・地域学習会参加人数」については、もう少し目標値を上げることができるのではないかと委員からご指摘がありましたので担当課に確認しました。現在、地域ふれあい座談会については見直しを行っており、様々な方向から検討されているようです。しかし現段階では詳しいことは決まっていないため、数値についてもなかなか設定が難しいこと、また人権同和教育は参加者数だけで計れるものではないことから、今回のような数値になっているとのことでした。そのため、今後この項目についてはこの数値目標から除かなければならない可能性もあります。 そのほかの項目のなかの、他の計画にて公表されている数値については、その計画の審議会等で決定しているものですので、そこは整合性をとっておく必要があることから、そのままの数値としております。 もう1点先ほど委員から教えていただいたのですが、「高校等におけるデートDV防止出前講座の開催」ですが、既に現在も4校にて開催されているとのことですので、目標値を4校とするのはいかがなものでしょうか。</p>
委員長	<p>みなさんどうでしょうか。</p>
委員	<p>人権擁護委員の立場で言わせていただきますと、現在は人権擁護委員のなかに男女共同参画の部門がありそこが行っているのですが、この先ずっとこの部門があるかどうかはわかりません。しかし、継続していくという観点から目標値を4校としておいてもいいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>それでは「ママパパ学級人数」と同じように、現状を保つという意味で横矢印にしてはどうでしょうか。</p>

委員	それがいいですね。
委員長	続いて前回の委員会において事務局より提出されました、提言書の案について、本日みなさんからご意見をいただくこととしておりましたので、ご意見のある方はお願いします。
副委員長	計画を作っただけでは意味がなく、これからこの計画に基づいて共に歩んでいくことが重要ですので、「1推進体制の強化について」の下2行に書かれてある「ネットワーク会議」の設置については強く要望していかなければならないと思います。
委員長	そうですね。女性活躍推進法のことも絡ませて、今まで以上の連携を目指すためにも、この部分はもう少し強調しておくといいと思います。
事務局	わかりました。もっと強調した記載に修正します。
委員長	そのほかにはございませんか。 なければ最後のその他について事務局より説明をお願いします。
事務局	前回の委員会において、「担当課の現在の課名を一覧にしたものを添付した方がよいのでは」とのご提案がありましたので、案を作成しました。何かご意見ありませんか。
委員	電話番号だけでなく、メールアドレスも載せればいいのではないのでしょうか。 また、変更する可能性があることも書いておいた方がいいと思います。
事務局	わかりました。各課のアドレスと、変更することがあることも追加記載します。 つづいて、市長提言書贈呈式についてですが、ご案内の文書をお付けしています。委員長、副委員長の出席は決定しておりますが、なるべく多くの委員と一緒に提言したいと思いますので、平日の昼間で申し訳ないのですが、ご出席をよろしく願いいたします。 出欠報告書にて期日までにお知らせください。 以上でございます。
委員長	全体を通してご意見ございませんか。 なければ、今回で委員会は最後となりますが、みなさまのおかげでいい計画書ができたと思います。でも先ほど副委員長がおっしゃられたとおり、計画書を作って終わりではなくこれからこの計画に基づいて、実施していくことが私たちの役割ではないでしょうか。 四国中央市の男女共同参画が推進されますよう、みなさまのお力添えを今後ともよろしくお願いしまして委員会を閉じたいと思います。 みなさま、長期間に渡ってありがとうございました。